

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ			必修 (精) 選択 (社.心)	2	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
森屋 直樹		講師控室	kyoumu		Teams 授業中に対応	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 精神障害者の地域生活の実態と、それらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 授業はテキストを中心に同時双方向型授業でパワーポイントを使用して進めていく。また、テキストに書かれている内容が実践現場においてどのように行われているか事例をもとに説明する。</p>					
学習上の助言	精神障害者の地域生活の実態と、それら取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解できるよう学んでほしい。					
教科書	新・精神保健福祉士養成講座4 第2版 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ /編:日本精神保健福祉士養成校協会編/中央法規出版					
参考書	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワーカーとして地域移行の対象者及び支援体制について、相談援助を踏まえて説明することができる				WP(5)、(6)	
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション 講義の概要・目的・評価方法について理解する。	同時双方向型授業	シラバスを確認する。			4
2	精神障害者支援の実践モデルの意味と内容について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
3	代表的な精神障害者支援の実践モデルについて理解する。レポートについての説明を受ける。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
4	地域を基盤とした相談内容について理解する。レポートについての説明を受ける。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
5	受理面接と契約について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
6	課題分析について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
7	支援計画について理解する。レポートについての説明を受ける。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
8	支援の実施と経過の観察について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
9	効果測定を支援の評価について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
10	終結とアフターケアについて理解する。レポートについての説明を受ける。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
11	相談援助活動のための面接技法① 相談援助活動のための面接技法について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
12	相談援助活動のための面接技法② 相談援助活動のための面接技法について理解する。レポートについての説明を受ける。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
13	スーパービジョンについて理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
14	コンサルテーションについて理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4
15	総まとめ	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。			4

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

試	定期試験	達成度評価、評価のポイントを参照					
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	50	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	10	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	精神障害者の地域生活の実態と、それらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について教科書の範囲内から出題する。授業中に説明した言葉の意味を正確に把握しているか確認する。				試験結果を掲示する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業期間中にレポートを課す。 自分なりの考え方や感想などを記載してもらう。				添削およびコメントを付したレポートを返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Microsoft Teams を使った同時双方向型授業を行う。          課題ダウンロードや映像共有を行うため授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。          尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。          精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。</p> <p><b>教員の実務経験：</b>精神保健福祉士取得後 15 年の実務経験。  <b>実践的授業の内容：</b>教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、精神保健福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p>							